

日本学術会議 科学者委員会 学術の大型研究計画検討分科会（第22回）
議事要旨

日 時 2013年10月1日（火）14:00-16:00

場 所 日本学術会議 6-C(2)(3) 会議室（6階）

出席者 荒川委員長、松沢副委員長、長野幹事、西尾幹事、今田委員、岡田委員、樋口委員
ヒアリングに出席した各分野（部）評価分科会委員長（委員長代理人）：（敬称略）
池田駿介、石川幹子、石原宏、入村達郎、木村学、楠岡成雄、栗原和枝、小原雄治、
西澤直子、野口伸

陪 席 日本学術会議事務局（盛田参事官、辻上席学術調査員、太田参事官付、守屋元参事
官付）

議題

※審査・評価に関する審議であることから非公開で行われた。

審議に先立ち、荒川委員長より、本日付で参事官付に着任された太田氏の紹介と、これまで本委員会の事務担当で尽力いただいた守屋氏（本日付で内閣府大臣官房総務課に異動）への謝意が述べられた。

1) 重点大型研究計画（案）策定に向けたヒアリング結果について

今回の本分科会開催は、本分科会委員に加えて、先日開催した「学術の大型研究計画検討分科会ヒアリング（審査小委員会）（以下、「ヒアリング」と略す）」に参加した各分野（部）評価分科会委員長（委員長代理人）も出席し、ヒアリングにおける評価結果について総合的に審議した。

特に、明日開催予定の次回の本分科会において、本分科会としての重点大型研究計画の採否を審議するに当たり、採択すべき計画についてヒアリングに関与した本分科委員および各分野（部）評価分科会委員長（委員長代理人）の意見調整を行った。

その結果、報告「第22期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針」に従って重点大型研究計画として25-30件程度を採択することとし、ヒアリングにおける評価点の高い提案、また、各部から一定数程度以上の提案が重点大型研究計画に含まれるように配慮して、合計27件を明日の本分科会に向けての採択案とした。

2) マスタープラン2014のこれまでの審査プロセスに関して

マスタープラン2014の策定におけるヒアリングに至るまでの審査プロセスに関して、本委員会の参加者が気づいたこと等の意見を出し合った。今後も継続的に意見を出し合い、内容によっては将来に予定されているマスタープラン2017の策定プロセスに活かすこととした。

3) 学術の大型研究計画検討分科会の次回開催について

学術の大型研究計画検討分科会の次回開催は、明日、日本学術会議の秋の総会の初日10月2日（水）の昼食時とした。

以上